

German

Introductory German

(医((放・検)1年))

keiji Ido · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

1 unit 前期 火 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『ドイツ語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『ドイツ語 (1)』)

Target) ドイツ語の基礎を習得し、またドイツ事情に触れる。英語以外の外国語を学び、英語圏以外の外国の事情や文化を知ることは、偏りのない健全な国際感覚を持つために必要であり、知的な刺激を得るためにも有益である。ドイツはヨーロッパにおける日本の重要な貿易や文化交流の相手であり、かつて板東取容所でドイツ人捕虜が「第九」を初演したことなどにより、徳島との関連も深い。

Outline) 読章、文法説明、練習問題からなる総合的な教科書を用いて上記のことを学ぶ。知識を少しずつ確実なものにしてゆくため、授業のはじめに前回習った基本的な事項について小テストで問う。時として、視聴覚教材などを用いてドイツ事情、ドイツ文化を紹介する。

Keyword) ドイツ語学習、ドイツの文化を知る

Goal) ドイツ語文法の基本や簡単な表現を理解し、応用すること。

Schedule)

1. 導入
2. 発音
3. 動詞の現在人称変化 (1)
4. 名詞の性
5. 冠詞
6. 動詞の現在人称変化 (2)
7. 命令形
8. 中間試験
9. 定冠詞類
10. 不定冠詞類
11. 前置詞
12. 再帰代名詞
13. 話法の助動詞
14. 未来形・使役表現
15. 期末試験
16. 予備

Textbook) 「行ってらっしゃい」(朝日出版社)。独和辞典が必要であるが、最初

の授業で紹介する。

Evaluation Criteria) 中間試験、期末試験、平常点 (小テスト、授業への取り組み方) で、総合的に評価する。

Re-evaluation) なし

Message) 出席を怠らず、課題をしっかりと果たすこと。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220924>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Ido (ido@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL